帝国書院　令和６年度版「楽しく学ぶ　小学生の地図帳」QRコードコンテンツ「47都道府県地図－福島県」活用例

教授用資料

* ４年生における**「自分たちの都道府県」**を学習する単元が主となります（「伝統文化・先人たち」のみ別単元）。
* **太字**　部分は、「47都道府県地図－福島県」の活用を示しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 教科書の学習項目 | 「47都道府県地図」を使った学習活動 | ねらいと指導上の留意点 |
| 日本の中の福島県 | * 地図帳で福島県の位置を調べる。 * **「県のようす」**を見ながら、県について知っていることや、地図からわかることを話し合う。   学習問題  わたしたちの住む福島県には、どのような特色があるのだろう。 | * 福島県が日本のどこに位置しているのか、理解することができるようにする。 * 単元を通して、ワークシートを活用して県の様子について調べ、分かったことや考えたことを総合して、県の特色を明らかにしていくことを伝える。 |
| 福島県の地形 | * **「地形のようす」**を見て、山地・平地・川の分布を調べる。 * **「地形」ワークシート**で作業を行う。地図帳も見ながら、自然地域名称を確認する。また、県内の地域区分についても調べる。 | * おもな自然地域名称を確認する。 * 県内が浜通り・中通り・会津という３地方に区分されることなど、県内の地形の様子をとらえることができるようにする。 |
| 福島県の土地利用 | * **「土地利用のようす」**を見て、市街地・畑・田などの広がりを調べる。 * **「土地利用」ワークシート**で作業を行う。また、**「地形」ワークシート**と並べて見て、気づいたことをシートに記入する。 | * 阿武隈高地の東側が浜通りで、阿武隈高地と奥羽山脈に挟まれているのが中通り、奥羽山脈の西側が会津であることをとらえることができるようにする。 * 田・畑・市街地がどのような場所にあるか、土地の高さに着目してとらえることができるようにする。 |
| 福島県の市・町・村 | * **「県の市・町・村」**を見て、県内のおもな都市と、自分達の住む市町村の位置を調べる。 | * 県内のおもな都市や、自分達の住む市町村は、福島県のどこにあるのか、理解することができるようにする。 |
| 福島県の交通 | * **「交通のようす」**を見て、高速道路や鉄道がどこを通っているのかを調べる。 * **「交通」ワークシート**で作業を行う。また、**「地形」ワークシート**と並べて見て、気づいたことをシートに記入する。 | * 県内の３地方を結ぶ東西方向と、浜通り・中通りの南北方向に交通が発達しているなど、県の交通の様子をとらえることができるようにする。 * 低い土地や平らな土地に鉄道や高速道路があることに気づくことができるようにする。 |
| 福島県の産業 | * **「おもな農林水産物」「おもな工業」**を見て、県内で作られているものや、その分布を調べる。 * **「農林水産物」「工業」のワークシート**で作業を行う。**「土地利用」と「農林水産物」、「交通」と「工業」のワークシート**を並べて見て、気づいたことをシートに記入する。 | * 中通りでは野菜やくだものが多く作られていこと、特に北部では桃などの果物が多く作られていることなど、県内の農業の様子をとらえることができるようにする。 * 高速道路の近くには工場が集まっていることに着目させ、県内の工業の様子をとらえるとともに、交通と工業の関連に気づくことができるようにする。 |
| 福島県の特色をまとめる。 | * **「福島県」の各地図**を見返し、**これまでに作業したワークシート**を用いて、県の特色を話し合う。 | * これまでのワークシートの作業で気づいた地形と土地利用、土地利用と農林水産物、交通と工業などの関連にも着目して、県の特色を考えることができるようにする。 |
| 福島県の伝統文化・先人たち | * **「おもな伝統文化・先人」**を見て、自分が知っている伝統工芸品・伝統行事・祭り・先人を見つける。 | * おもな伝統文化・先人を確認することで、県内の伝統や文化、先人の働きを調べる動機づけを図る。 |

※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。